



2022年11月、12月号(第4号)

作成：木下・廣澤(2年)

小方・野田(1年)

編集：川越(2年)

《ワークショップ》

11月12日(土)、13日(日)に山口県セミナーパークで開催された「ワークショップコレクション in やまぐち 2022」に参加しました。私たち小研は2日間8ブース出展し、子どもと一緒に工作などの作業を通して交流しました。10月に行ったSDGsミッションゲームと同様に、講義や空いた時間で作業を進めました。今回のワークショップでは、小さな子どもでも作れるように作業工程や材料などを工夫しました。当日は、有志の小研1~4年生の皆さんも参加しました。4学年がそろって活動することはこれが初めてだったので、緊張がありつつも嬉しさいっぱいでした。

同じブース内で自己紹介や作業内容を確認しながら、たくさん話をする事が出来てとても楽しかったです。また、会場運営の仕事にも携わり、とても貴重な体験をすることが出来ました。

両日も大盛況で、多くの幼児・小学生やその保護者が来てくれました。3歳から12歳と幅が広く、一人ひとりの年齢に合わせた作業が出来るように、会話を重ねながら子ども理解に努めることは難しかったですが、とても勉強になりました。

たった2日間ではありましたが、確かに私たちの学びとなった充実した2日間でした。



《合唱コンクール》

11月16日(水)に、大学会館にて合唱コンクールが行われました。小学校総合選修の1年生から4年生までが参加し、課題曲と各学年の自由曲を披露しました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりました。練習では、感染対策として、大規模での合唱練習や、マスクをとった状態での練習などを自粛する必要があったため、思ったように練習時間をとることができませんでした。しかし、短い練習時間の中、各学年がリーダーを中心に一致団結して練習を積み重ねていきました。

当日は、1年生から4年生の順番に素晴らしい歌声を披露しました。中でも4年生の歌声は圧巻で、聴く人すべての心を掴む合唱でした。課題曲賞、自由曲賞、最優秀賞、伴奏者賞、指揮者賞のすべてを4年生が総取りする結果となりました。やはり4年間鍛え上げた団結力はとても強いものでした。

合唱コンクール総括の宮本一輝さん(2年)は、「短い練習期間の中で大変だったけど無事終了してよかったです。」と、同じく村上葉胡さん(2年)は、「3年ぶりに合唱コンクールをすることになり、コロナとの兼ね合い等大変なことが多かったけど、各学年練習、準備をしてくれたおかげで成功させることができました。来年の省の総取りは私たちの学年でしょう。」と述べてくださいました。

今回の合唱コンクールでより各学年のチーム力が高まり、これからの活動につながる力を身に着けることができたと思います。



《クリスマス会》

2022年12月18日(日)の午後、山口県セミナーパークで「小学校総合選修クリスマス会」を開催しました。学生スタッフとして、2年生と1年生が運営に携わりました。事前にポスターやウェブサイトで募集した、小学生41名とご家族が予約参加されました。5つのブースで6つのワークショップを開きました。

リーダー

準備の時間が限られている中で1年生と2年生が空いている時間を探して子どもたちに楽しんでもらうというひとつの目標に向かって全員が協力して準備を進め、本番を迎えることができたと思います。本番は各ブースとても完成度の高いものを提供しました。子どもたちの笑顔がたくさん見ることができて本当に嬉しかったです。

クリスマスマーケット班

準備の時間が限られている中で、1年生と2年生が空いている時間を探して子どもたちに楽しんでもらうというひとつの目標に向かって全員が協力して準備を進め、本番を迎えることができたと思います。本番は各ブースとても完成度の高いものを提供できました。子どもたちの笑顔がたくさん見ることができて本当に嬉しかったです。

ちびっこサンタ班

ちびっこサンタでは、子どもたちがサンタクロースとなり、私たちが作ったマップ内のミッションをクリアして、プレゼントを届けるというゲームをしました。大判用紙で作ったマップ内のおうちは扉を開けることができ、この中に書かれたミッションをクリアしたり、謎解きを考えたりと、子どもたちも保護者の方も真剣に、とても楽しそうに取り組んでくださいました。クリアした後の子どもたちが、もっとやりたい!楽しかった!と言ってくれました。準備にはとても大変なこともありましたが、心からの大成功を感じることができ、とてもうれしかったです。

雪班

雪班では、風船で雪だるまを作りました。もともとは重層とコンデショナーを混ぜて「溶けない雪」を野外で作る予定でしたが、当日、積雪が予想されたため外で活動することはかないませんでした。しかし、皆慌てずに対処しました。風船を膨らませるのが苦手な子や、風船を結ぶのが苦手な子、発想力が豊かでこちらが予想していなかった形のマフラーを作る子、青色の雪だるまを作ったりする子、様々な子どもたちと触れ合うことのできる貴重な時間となりました。来年は自分たちが主体となって、このような素晴らしい会を開けるようにしたいです。

風船アート班

風船アートでは、膨らませた風船を大判用紙に貼って、モザイクアートを作っていました。大きな絵を小さな子供たちが一生懸命に作り上げていく姿がとても可愛かったです。みんなが楽しそうに取り組んでいる姿を見て私たちが嬉しくなりました。自分たちが簡単だと思うことも子供たちにとっては難しいことも多く、噛み砕いてわかるように説明するのが難しかったです。

プロジェクションマッピング班

プロジェクションマッピング班の活動はクリスマス会の締めとして、一日の終わりに子供達にプロジェクションマッピングを見てもらう、というものでした。プロジェクションは高さ約2mの強化発泡スチロールで作った大きなプレゼント箱の形をしたものを用意し、そこに投影しました。プロジェクションが終わると、プレゼント箱の中からサンタさんが出てきて、みんなとお話するという仕掛けもありました。

